

出雲市中小企業景況調査報告書

(平成21年7月～9月期)

1. 調査期間 平成21年10月1日～平成21年10月15日

2. 調査対象企業 出雲市内事業所150社 回答数138件 回答率 92.0%

業種	出雲商工会議所管内		平田商工会議所管内		出雲商工会管内		合計	
	対象企業数	回答企業数	対象企業数	回答企業数	対象企業数	回答企業数	対象企業数	回答企業数
建設業	13	13	4	4	4	3	21	20
製造業	18	17	7	7	6	6	31	30
卸売業	9	8	2	2	3	3	14	13
小売業	23	18	9	9	8	8	40	35
サービス業	27	23	8	8	9	9	44	40
合計	90	79	30	30	30	29	150	138

3. 調査実施機関 出雲商工会議所、平田商工会議所、出雲商工会

今 期（2009年7－9月）の 概 要

概 況（前期調査＝2009年4－6月期）

- 昨年からの急激な景気の悪化による大幅な売上減少、新たな大型商業施設のオープンなどが影響し、業況は厳しい状況が続いています。しかしながら、全業種のDIをみると、今期業況DIが前期比で△35.6（前期調査△47.4）、前年同期比でも△49.3（前期調査△57.7）とマイナス幅が縮小しています。ここ数カ月は低い水準とはいえ、下げ止まり感が伺えます。
- 全業種の来期業況見通しDIは、今期比で△22.6（前期調査△30.1）とマイナス幅が縮小しました。年末の需要期を迎えることもあり、やや明るさは見えつつありますが、依然厳しさが残り低い水準で推移していくものと予測しています。
- 雇用情勢は、全国的にはやや失業率が改善しつつあります。ただ、雇用は維持しているものの、会社都合により休業を余儀なくされている労働者もいるため、景気動向次第では一気に失業者が増えることも予想され、予断を許さない状況が続いています。
- 政府の中小企業対策の一環として打ち出された緊急保証制度の拡充とあわせ、島根県では昨年11月から「資金繰り円滑化支援緊急資金」を創設したこともあり、出雲市内事業所の融資保証承諾件数、保証金額とも増加しています。企業倒産の回避に一定の効果をあげているとの見方もあります。
- 9月に鳩山新政権が誕生しましたが、政策転換が景気にどのような影響を与えるのか大いに注目されます。前政権が決定した補正予算の一部執行停止・凍結などが打ち出されていますが、今後の予算編成次第では公共投資への依存度が高い本市にとっても建設業、建設関連業種に打撃を与える可能性もあり不安が広がっています。

業種別景況調査の主要 DI

(前期調査＝2009年4－6期)

1、建設業

- ・今期業況 DI が前期比で $\Delta 20.0$ (前期調査 $\Delta 65.0$) とマイナス幅が大きく縮小し、前年同期比でも $\Delta 40.0$ (前期調査 $\Delta 55.0$) とマイナス幅が縮小するなど、景況感はやや上向きになっています。
- ・売上 DI は前期比で $\Delta 35.0$ (前期調査 $\Delta 70.0$) とマイナス幅が縮小した一方、前年同期比では $\Delta 45.0$ (前期調査 $\Delta 40.0$) と僅かにマイナス幅が拡大しています。徐々に公共事業の発注が出てきており受注が改善しつつありますが、工事単価の減少、法定福利費など諸経費負担の増大が利益低下に拍車をかけています。
- ・来期業況見通し DI は、今期比で $\Delta 21.1$ (前期調査 $\Delta 30.3$) とマイナス幅が縮小しています。厳しい経営環境ではありますが、いくぶんは持ち直すのではないかと予測しています。

2、製造業

- ・今期業況 DI は、前期比で $\Delta 34.5$ (前期調査 $\Delta 48.3$)、前年同期比では $\Delta 55.2$ (前期調査 $\Delta 64.3$) とマイナス幅が縮小し、業況は上向きつつあります。
- ・売上 DI は、前期比で $\Delta 37.9$ (前期調査 $\Delta 37.9$) と増減なく、前年同期比では $\Delta 58.6$ (前期調査 $\Delta 69.0$) とマイナス幅が縮小しています。売上は下げ止まりつつありますが、原材料等の上昇もあり採算は改善していません。
- ・来期業況見通し DI は、今期比で $\Delta 27.6$ (前期調査 $\Delta 14.8$) とマイナス幅が拡大しています。今後年末へかけて業況はやや悪化するのではないかと見ています。

3、卸売業

- ・今期業況 DI は、前期比で $\Delta 46.2$ (前期調査 $\Delta 41.7$) とマイナス幅が拡大し、前年同期比でも $\Delta 61.5$ (前期調査 $\Delta 46.2$) とマイナス幅が拡大しています。
- ・売上 DI は、前期比で $\Delta 69.2$ (前期調査 $\Delta 30.8$)、前年同期比でも $\Delta 84.6$ (前期調査 $\Delta 69.2$) とマイナス幅が大きく拡大しています。
- ・来期業況見通し DI は、今期比で $\Delta 0.0$ (前期調査 $\Delta 30.8$) とマイナス幅が縮小し、低調ながら冬物の販売増加が期待されることから業況は横ばい推移すると予測しています。

4、小 売 業

- ・ 今期業況 DI は、前期比で△40.0（前期調査△36.1）とマイナス幅が僅かに拡大し、前年同期比では△51.4（前期調査△55.6）とマイナス幅がやや縮小しています。
- ・ 売上 DI では、前期比で△26.5（前期調査△27.0）とマイナス幅が僅かに縮小し、前年同期比では△54.3（前期調査△77.8）とマイナス幅が大きく縮小しています。高額商品や冷夏の影響で季節商品の売れ行きが鈍く、やや期待外れの結果となりました。ただ、インフルエンザ関連商品（マスク、空気清浄機等）の売上が増加しています。
- ・ 来期業況見通し DI は、今期比で△28.6（前期調査△33.3）とマイナス幅が縮小していますが、エコポイントの導入による消費刺激策の効果を期待する一方、非対象商品との売上の差が大きく、冬季賞与の削減による所得減少から買い控えも増えると指摘する声があがっています。

5、サービス業

- ・ 今期業況 DI は、前期比で△36.8（前期調査△50.0）、前年同期比では△43.2（前期調査△60.0）とマイナス幅が縮小しています。
- ・ 売上 DI は、前期比で△57.5（前期調査△23.3）、前年同期比では△71.8（前期調査△58.1）とマイナス幅が大きく広がっています。集客アップを図るため低価格料金を設定するなど消費者の節約志向にあわせ値下げに踏み切らざるを得ない店舗が増えています。
- ・ 来期業況見通し DI では、今期比で△21.6（前期調査△37.5）とマイナス幅が縮小しています。年末需要を見込み、売上はやや改善することが見込まれ、業況も上向くことを期待していますが、全体的に消費者の節約志向は強まり厳しさは続くものと予測しています。

設備投資動向

1、今期設備投資

全業種 設備投資を実施した事業所の割合は28.4%で、前期（21.2%）を上回りました。内訳としては、「機械・備品」への投資割合が最も高い割合となっています。

建設業 実施割合が19%で、「機械・備品」の割合が高くなっています。

製造業 実施割合が28.1%で、「機械・備品」、「付帯施設」の割合が高くなっています。

卸売業 実施割合が28.6%で、「建物」「機械・備品」「車両運搬具」「付帯施設」の割合が同率で並んでいます。

小売業 実施割合が24.3%で、「OA機器」の割合が高くなっています。

サービス業 実施割合が36.4%と高めで、「建物」、「車両運搬具」の割合が高くなっています。

2、来期設備投資

全業種 計画している事業所の割合は21.2%（前期26.5%）と低下し、投資意欲が減退しています。内訳としては、「機械・備品」の割合が最も高くなっています。

建設業 計画している割合が15.0%で、「機械・備品」の割合が高くなっています。

製造業 計画している割合は28.1%で、「機械・備品」の割合が高くなっています。

卸売業 計画している割合はなしとなっています。

小売業 計画している割合が27.5%で、「付帯施設」の割合が高くなっています。

サービス業 計画している割合が19.5%で、少額な改修工事も含んだ「建物」の割合が高くなっています。

経営上の問題点

- 全業種 第1位は「需要の停滞、受注減少」圧倒的に多く71.8%（前期64.9%）と7割を超えています。続いて第2位は「単価の低下・上昇難」となっています。
- 建設業 第1位が「需要の停滞、受注減少」で、85.0%を占めています。
- 製造業 第1位が「需要の停滞、受注減少」で、64.3%を占めています。
- 卸売業 第1位が「需要の停滞、受注減少」で、69.2%を占めています。
- 小売業 第1位が「需要の停滞、受注減少」で、73.5%を占めています。
- サービス業 第1位が「需要の停滞、受注減少」で、69.4%を占めています。

注：DI（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

詳細は業種別景況を参照してください。